

記入例2 申述人が未成年者の場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

受付印	相 続 放 棄 申 述 書
収入印紙 円	(この欄に収入印紙800円分を貼ってください。)
子納郵便切手 円	印紙 (貼った印紙に押印しないでください。)

準口頭	関連事件番号	平成・令和	年(家)	第	号
-----	--------	-------	------	---	---

<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 令和〇年〇月〇日	申述人 (未成年者など の場合は法定 代理人 の記名押印)	甲野次郎の法定代理人 甲野花子
---	---	--------------------

添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 戸籍(除籍・改製原戸籍)謄本(全部事項証明書) 合計2通 <input checked="" type="checkbox"/> 被相続人の住民票除票又は戸籍附票 <input type="checkbox"/>
------	--

申述人	本籍(国籍)	都道府県	〇〇市〇〇町〇番地		
	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇	電話	〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇	
	フリガナ氏名	コウノ ツヨシ	昭和 平成 令和	〇年〇月〇日生	職業 小学生
法定代理人等	※ ① 親権者	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇	電話	〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇
	2 後見人	申述人の住所に同じ (〇〇〇〇 方)			
	3	フリガナ氏名	コウノ ハナコ	フリガナ氏名	
被相続人	本籍(国籍)	都道府県	申述人の本籍に同じ		
	最後の住所	申述人の住所に同じ		死亡当時の職業	会社員
	フリガナ氏名	コウノ オツタロウ	平成 令和	〇年〇月〇日死亡	

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

亡くなった人のことについて記入してください。

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、当てはまる番号を○で囲み、被相続人との関係欄の7、法定代理人等欄の3を選んだ場合には、具体的に記入してください。

申 述 の 趣 旨
相 続 の 放 棄 を す る 。

申 述 の 理 由	
※ 相続の開始を知った日……………平成・ 令和 ○年 ○月 ○日	
① 被相続人死亡の当日	3 先順位者の相続放棄を知った日
2 死亡の通知を受けた日	4 その他 ()
放 棄 の 理 由	相 続 財 産 の 概 略
※ 1 被相続人から生前に贈与を受けている。 2 生活が安定している。 3 遺産が少ない。 4 遺産を分散させたくない。 ⑤ 債務超過のため。 6 その他 []	資
	農 地…………約…………平方メートル 現 金…………約 <u>100</u> 万円 預貯金…………約…………万円
	山 林…………約…………平方メートル 有価証券…………約…………万円
	宅 地…………約…………平方メートル
	産
建 物…………約 <u>20</u> 平方メートル	
負	債…………約 <u>2,000</u> 万円

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、申述の理由欄の4、放棄の理由欄の6を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

亡くなった人が残した財産(負債を含む)について記入してください。

1～5に該当しないときはここに記入してください。